

久留米

# 市議会だより

## 第170号

平成26年1月15日発行

発行：久留米市議会  
編集：議会広報委員会

久留米市城南町15番地3  
電話 0942 (30) 9305

新年おめでとございます。昨年(仮称)総合都市プラザの着工、中核市初のセーフコミュニティ認証取得、官民一体での指定暴力団旧本部事務所の撤去等、市の今後の発展を左右する取り組みが大きく動き出した一年でした。市議会といたしましては、これらの取り組みを初め、さまざまな課題について、議員一人一人が市政のチェック機能を果たす重責を担っていることを十分に自覚し、是非々の立場で臨み、市の今後の発展に向け引き続き全力を尽くしてまいります。

本年も、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、皆様からのより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



副議長  
金丸 憲市



議長  
原口 新五



安全・安心なまちを目指して（暴力団壊滅市民総決起大会）

### 第4回定例会

第4回市議会定例会は、12月2日から16日までの15日間の日程で開催されました。

▷平成24年度一般会計決算、国民健康保険事業などの13特別会計決算、1企業会計決算を認定。▷平成25年度一般会計補正予算、世界のつばき館条例などを可決。▷議員発議による新山正英議員の辞職勧告に関する決議を可決。▷固定資産評価審査委員会委員の人事案件に同意しました。

ページ

- 決算審査特別委員会報告、議会日誌 …………… 2
- 一般質問（個人） …………… 3～7
- 議会運営委員会及び  
会期中の常任委員会の審査 …………… 4～5
- 常任委員会（閉会中）の活動状況、  
人事案件、議長発言、決議 …………… 7
- 提出議案と審議結果 …………… 8

# 決算審査特別委員会報告 (9/25~10/3)

平成24年度一般会計と13の特別会計及び1企業会計の各決算並びに関連議案1件について、審査概要を報告します。

## 《一般会計・特別会計》

一般会計と特別会計歳入決算総額は2127億8147万円、歳出総額は2094億5223万円で黒字決算となり、主要4基金取り崩しゼロの達成や財政調整基金への積み立てなど、財政健全化への努力は評価をするものです。

しかし、経常収支比率は、扶助費及び公債費の増加、普通交付税の減少などで前年度から2.3ポイント悪化し、93.2%となりました。今後も、国の地方財政対策の動向等を注視し、持続可能な財政構造の実現に向け、さらなる努力を求めます。

## 《企業会計・関連議案》

前年度に比べ、総収益、総費用とも減少しましたが、収益的収支は総収益44億3363万円、総費用38億4563万円となり、純利益5億8800万円の黒字となりました。

この純利益に、前年度繰越利益剰余金等を加えた7億947万円のうち、6億円を減債積立金に積み立て、残りを翌年度繰越利益剰余金として繰り越しています。

## 《主な質疑の内容》

### ○公共施設更新の取り組み

委員より、公共施設更新の取り組みについて質疑があり市長より「今年度中に公共施設白書をまとめ、市民と共通理解を図った上で基本方針を策定し、27年度を目標に公共施設の再配置計画や長寿命化計画等を策定する予定である。この取り組みは、市民サービスにも影響を与える重要なものであり、市民などの理解・協力が得られるように協働の視点も踏まえ、時期をおくらせることのないよう進めたい」との答弁がありました。

### ○市と外郭団体との関係

委員より、保健事業における市と生きがい健康づくり財団との関係について質疑があり、市長より「財団は、市と連携して事業を展開してきた。これまで保健師の地区担当

制等の委託を市直営に見直ししてきたが、成人の健康づくり事業は、同財団や他の団体との連携や協働により推進したい。今後も社会情勢やニーズに対応するために、検証等を行い、より効果的・効率的なものになるよう見直していきたい」との答弁がありました。

### ○新生児訪問事業の見直し

委員より、母子保健に係る新生児訪問事業の見直しについて質疑があり、市長より「この事業は、第1子並びにリスクがあると思われる家庭を登録された保健師等が、第2子以降は生きがい健康づくり財団の保育士が訪問している。しかし、専門性の違いなどの課題もあり、第1子は現状の課題解消の方法を検討し、第2子以降も一元化して実施の方向での検討を進めたい」との答弁がありました。

### ○外環状道路へのバス路線新設

委員より、外環状道路へのバス路線新設について質疑があり、市長より「路線新設は、議会の意見も踏まえて交通事業者と意見交換等を行っている。事業者からは、道路供用開始直後は沿線の開発が進ん

でないことから、今後の需要を見きわめながら路線新設の検討を行う必要があると伺っている。総合的な市の交通政策の中で、具体的な方策の検討を最優先で行いたいと思う」との答弁がありました。

## 《主な要望》

### 総務費 専門職の人材育成

のための体系的研修のさらなる充実、自治会加入率向上に向けたさらなる取り組み強化

### 民生費 学童保育所の定員

超過解消へ向けた対策のさらなる検討

### 衛生費 活用が少ない屋上

等緑化推進事業の見直しの検討

### 労働費 若者しごとサポ

ートセンター筑後ランチへのハローワーク設置などの研究

### 農林水産業費 農業者が取

り組みやすいような6次産業化のさらなる支援の実施

### 商工費 スポーツイベント

と連携した観光振興策の推進

### 土木費 街路樹の植栽基準

の設定と積極的な緑化の推進  
教育費 児童生徒の学力向上に向けた取り組みのさらなる推進  
歳入 滞納の初期対応のさらなる強化

## 議会日誌 (12月)

2日 本会議

会期の決定(15日間)、  
発議案の説明・審議採  
決、決算審査特別委員  
会審査の報告・審議採  
決、提案説明

4日 本会議

5日 本会議

6日 本会議

9日 本会議

10日 本会議

11日 本会議

16日 本会議

各常任委員会議案審査  
の報告・審議採決、議  
運の閉会中の継続調査  
追加議案(人事)の提  
案説明・審議採決

次の市議会定例会の  
開催予定は、  
2月下旬です。

※外環状道路…東合川野伏間線(市中心部の幹線道路の渋滞緩和のために、国道210号、九州自動車道久留米IC、国道3号、国道209号を結ぶ4車線道路。平成26年春に全線開通予定。)  
※若者しごとサポートセンター筑後ランチ…福岡県若者しごとサポートセンターでは、若者を対象に就職支援事業を実施している。筑後ランチは、その支所としてサンライフ久留米内に設置されている。

# 市政に対する一般質問



12月4、5、6、9日の4日間、一般質問が行われました。その一部の要旨をお知らせします。

## 市街地の国・県道の美化に対する取り組みは

清風会議員団

原 学

**問** 市街地を通る国・県道の中央植栽帯などの除草作業について、前回「国・県に対しては、これまで以上の強い要望と話し合いをしていく」と回答された。しかし、依然として雑草繁茂の実態は好転の兆しが見えず、何とかならないものかと思う。その後の取り組み状況はどうなっているのか。

**答** 本市では、国・県道それぞれが道路管理者に対し、除草回数をふやすとともに、効果的な時期に実施することを要望してきた。国・県としては、財源上の課題や他地域とのバランスを考慮すると、本市だけに特化した除草回数増は、現時点では難しいということである。今後も、国・県に対し維持管理の充実



12月15日に行われた認知症サポーター養成講座(久留米市民会館 小ホール)

## 認知症高齢者と家族を支える仕組みづくりを

公明党議員団

田中 功一

**問** 厚生労働省は、平成24年10月現在の65歳以上の高齢者の15%を認知症と推計している。今後、在宅の

が図られるよう、平成26年度予算編成時期に合わせ、強く要望を行っていききたい。

**問** 土地基盤整備事業の実施に際して、地権者と耕作者が違つことによる農家負担金問題などが課題となり、事業が進んでいない地域がある。農家負担の軽減策など、未整備地区への支援策は考えられないのか。

## 土地基盤未整備地区への支援策の検討は

明政会議員団

八尋 義伸

本市では、平成21年度から認知症を正しく理解し見守る「認知症サポーター」や講師役の「キャラバン・メイト」の養成に取り組んでいる。今後も社会全体で支援していく取り組みを強化していきたい。さらに、民生委員を初め、地域住民や地域包括支援センターなどと相互に連携・協力し、地域の実情に応じたケア体制の整備を推進し、地域で支える仕組みづくりに努めていきたい。



土地基盤整備事業が行われた山本町の農地

## 人口増加に向けた取り組みは

みらい久留米議員団

永松 千枝

**問** 本市の人口が、減少から増加に転じたという新聞記事が掲載されていた。これまで、本市では、子育て支援や安全安心で暮らしやすいまちづくりなどを政策の中心にして、定住促進施策を推進してきた。今後、人口増加を継続させるために、どのような施策に取り組んでいくのか。

**答** 本市では、30代や40代前半の人口が増加しており、その要因としては、定住環境の整備や雇用の場の確保などの取り組みが総合的に評価されたためだと推測している。しかし、中長期的には少子化の進行や団塊世代が一斉に後期高齢者となることから、人口減少が進むと考えられる。今後もこれらの取り組みに加え、豊かな自然や充実した医療などの多彩な都市資源を活用し、久留米で暮らしたいと思っただけのよう取り組みでいきたい。

**答** 土地基盤整備事業については、事業費負担や将来の担い手問題などの理由で、農用地区域内の約260haが未整備地区となっている。本市の農業振興に必要な事業とは認識しているが、事業実施には、権利関係者の95%以上の同意が必要であり、合意形成が最も重要となる。今後は、ハード計画だけではなく、地域の実情にあった効果的で事業費の低減につながる整備手法を検討するとともに、農家負担が軽減できる事業計画も検討していきたい。

※認知症サポーター…認知症サポーター養成講座を受講した人。認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支える。  
※キャラバン・メイト…認知症サポーター養成講座で講師役を担う人。認知症サポーター養成講座を開き、習得した知識や体験等を市民に伝え、認知症サポーターを養成する。

児童生徒の体力・運動能力  
向上の取り組みは

明政会議員団

吉富 巧

問

児童生徒の体力・運動能力は、全国的に下降傾向にあり、本市の体力テストの結果においても、全国平均値を下回っている。今後、児童生徒の体力・運動能力向上に、どのように取り組むのか。また、教育現場だけでなく、家庭での取り組みも必要ではないか。

答

本市では、50m走・握力などの8項目からなる体力テストの結果に基づいて、体育の授業の工夫改善や部活動の活性化に取り組んでおり、平成24年度は前年度に比べ改善が見られた。今年度からは、各学校で縄跳びや一輪車などの「一校一取り組み」を設定して重点的に取り組んでいる。しかしながら、体力の向上については学校の取り組みだけでは達成することができないことから、家庭でも日常的な運動や外遊びに取り組みむことができるよう、学級懇談会などで啓発を行っている。



おいしいお米ができるといいな(大橋小の総合的な学習の時間)

農村体験型宿泊学習の実施は

緑水会議員団

森 多三郎

問

北九州市の中学校では、熊本県小国町と連携し「小国町うるるん体験教育ツアーリズム」と呼ばれる地元家庭への宿泊体験を実施している。本市の小中学校でも、このような農村体験教育を実施してはどうか。

答

小学校では、校区の農家などの指導を受けながら、米や野菜づくりを体験している。さらに、郷土料理づくりなど、日本独自の食

総務常任委員会



くろめりあ六ツ門内に設置されている  
市民活動サポートセンター「みんくる」

当委員会では、予算議案1件、条例議案1件、一般議案4件を審査した。

久留米市市民活動サポートセンターの指定管理者の指定は、市民活動サポートセンターの次期指定管理者に特定非営利活動法人ワーカーズコープを指定するものである。

委員から「なぜ、市外の団体を指定するのか。市内の団体を育成する努力が不足していたのではないか」との質疑があり、当局から「選定委員会の審査の結果、当該事業者の提案内容が最良だった。今後は市内団体の育成に努めていく」との答弁があり、審査の結果、原案のとおり可決した。

また、そのほかの各議案についても、審査の結果、原案のとおり可決した。

教育民生常任委員会

当委員会では、予算議案2件、条例議案1件、一般議案7件を審査した。

久留米市勤労青少年ホームの指定管理者の指定は、野中町にある勤労青少年ホームの次期指定管理者に公益財団法人久留米文化振興会を指定するものである。

委員から「この施設が若年労働者の生活の充実のために建てられていることを踏まえ、事業内容の充実と広報手段、宿泊施設の利用を工夫し、対象者である若年労働者の利用を高めていただきたい」との意見が出され、審査の結果、原案のとおり可決した。

また、そのほかの各議案についても、審査の結果、承認または原案のとおり可決した。



勤労青少年ホームで開催された  
フィットネスヨガ教室

**問** 市役所内におけるコピー用紙の使用量の抑制・削減は、コストや環境負荷の軽減に大きな効果がある。ペーパーレス化に向け、どのように取り組んできたのか。さらに、ペーパーレス化を進める方策として、各種会議におけるタブレット端末の導入をどのように考えるか。

**答** ペーパーレス化の取り組みとして、庁内メールの利用促進、例規集のデータベース化などを実施している。今年度からは、パソコン

緑水会議員団

石井 俊一

ペーパーレス化の取り組みは

文化に対する理解を深めている。また、中学校でも、野外炊飯活動や職場体験としての農業体験などで自然や食の大切さを体感している。現在、農家への宿泊体験は行っていないが、グリーンツーリズム、\*アグリツーリズムを意識した自然農業体験において、農家との触れ合いを深め、農山村などの生活や文化に触れる機会が充実するよう働きかけていきたい。

議会運営委員会

当委員会は、11月25日、12月2日、12日に開催した。

11月25日は、第4回定例会の会期及び議事予定、一般質問及び議案質疑などについて協議を行った。

12月2日は、議員の辞職勧告に関する決議などについて協議を行った。

12月12日は、16日の最終本会議に提案される追加議案、最終本会議の議事予定などについて協議を行った。



経済常任委員会

当委員会では、予算議案2件、条例議案3件、一般議案3件を審査した。

久留米市世界のつばき館条例の議案審査では、委員から、施設使用料の設定基準や開館初年度の入館者数などについて質疑があり、当局から「施設使用料は近隣の久留米ふれあい農業公園を基準に設定した。初年度の入館者数は4万人を目標にしており、当該施設には大型バスの駐車スペースもあるため、耳納北麓地域のさまざまな情報を集中的に発信して集客を図りたい」との答弁があり、審査の結果、原案のとおり可決した。

また、そのほかの各議案についても、審査の結果、承認または原案のとおり可決した。



草野町に平成26年3月にオープン予定の久留米市世界のつばき館（イメージ図）

建設常任委員会

当委員会では、予算議案1件、条例議案4件、一般議案8件を審査した。

平成25年度一般会計補正予算（第3号）の主な内容は、平成19年度から長期運営委託を実施している上津クリーンセンターの第3期長期運営委託のための長期包括委託料の追加などである。

委員から、「長期委託というのなら、今後、より長い期間を設定して、年度単価を安くできないか検討してほしい」などの意見が出され、審査の結果、原案のとおり可決した。

また、そのほかの各議案についても、審査の結果、承認または原案のとおり可決した。



平成19年度から運営委託を実施している上津クリーンセンター

\*グリーンツーリズム…農山漁村地域において、自然・文化・人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。  
\*アグリツーリズム…都市居住者などが、農場や農村で休暇・余暇を過ごすこと。

を利用した部長会議の試行、文書や資料の電子化の推進などに取り組んでいる。今後、職員の意識の向上を図り、取り組みの徹底に努めたい。タブレット端末などを利用したペーパーレス会議の導入は、経費の問題などがあり、運用ルールの整備を含め、導入事例を参考に研究を進めたい。

**老朽化したスポーツ施設の改修・改築は**

清風会議員団

吉田 帰命

**問**

スポーツ施設を災害時の拠点施設として防災機能を充実させることも、老朽化した施設の安全性を確保する必要がある。施設の現状や改修等の計画はどのようなになっているのか。

また、県立体育館や武道館などがリニューアルされると聞くが、現在の進捗状況はどうか。

**答**

安全で快適なスポーツ活動の場を提供するため、計画的に改修・修繕を行っている。今後とも、各施設の状態や市民の要望を踏まえ施設の安全確保に努めたい。



老朽化により改築された荘島体育館(荘島町)

また、県立体育館などについては、平成24年度から県が主体となって委員会を設置し、一体的改築の基本構想の検討を事務レベルで進めている。県と十分な連携を図りながら、取り組んでいきたい。

**市民からの要望の一括管理を**

公明党議員団

山下 尚

**問**

市には、自治会や地域コミュニティ組織、各種市民団体、個人などからさまざまな要望書が提出される。富山県南砺市では自治会などからの要望書の受付、対応、回答を一括管理し、対応状況をホームページで公開し

ているが、本市でも同様の対応ができないか。

**答**

平成24年度は、自治会から196件、校区コミュニティ組織から117件の要望書が提出された。所管部局で受け付けているが、複数にまたがる場合は協働推進部を中心に調整している。各団体からの要望については、所管部局による精査のため回答がとれるなどの課題もあり、ルールをつくるなどの必要を見直しを行い、適切に対応していきたい。また、受付体制などについては、現行の広聴制度も踏まえ、他市の事例も参考にし、研究していきたい。

**子育て支援策の推進状況は**

みらい久留米議員団

藤林 詠子

**問**

本市では、中期ビジョンに「全国トップクラスの子育てしやすいまち」を掲げ、施策を展開してきた。NPO法人から「次世代育成環境ランキング」の中核市部門で2年連続総合3位の評価を受けたが、この4年間の具体的な成果を伺いたい。

**答**

これまでの成果として、保育所32カ所、学童保育所10校区の施設を整備し、それぞれ1038人分と470人分の定員増を図った。また、多様な保育ニーズに対応するため、夜間保育所や市内3カ所目の病時・病後時保育施設を開設した。学校については、小・中・特別支援学校の耐震化を平成25年度中に、全ての普通教室への空調機設置を平成26年度末までに完了する予定である。今後も、子育て支援策の充実に積極的に取り組んでいきたい。



子育てに関する相談もお気軽に(子育て交流プラザ くるん)

**定住人口をふやすための交流人口増加対策は**

明政会議員団

原口 和人

**問**

定住人口を増加させるためには、交流人口をふやすことも重要である。交流人口の増加対策として、どのような取り組みをしているのか。また、イベント会場に市外から来場された人々に久留米の素晴らしさをどのようにPRしているのか。

**答**

イベント開催などによる交流人口をふやす取り組みとして、久留米の豊かな自然や農産物、歴史・文化、食、ものづくりなど魅力ある地域資源を活用した集客に努めている。また、PRキャンペーンや雑誌・情報誌への発信、ホームページ、ラジオ出演など、積極的な情報発信を行っている。今後、イベント会場に来場された皆様に久留米のまちの魅力や久留米暮らしの優位性を積極的にアピールし、少しでも定住人口増加につなげるための効果的な情報発信に努めたい。

※交流人口…通勤・通学、観光、スポーツ、レジャーなどで、その地域を訪れる(交流する)人の数のこと。

商店版リフォーム助成制度の創設を

無所属クラブ

緒方 正子

問

高崎市では平成25年度から、商業の活性化を目的に、まちなか商店リニューアル助成制度を創設し、店舗改装費用などを補助している。制度の創設に当たり、職員が商店を訪問調査した際に聞いた要望を施策につなげたとのことである。本市でも、同様の助成制度の創設はできないか。

答

本市では、組合組織がある中心商店街と、地域で既存の商業集積がある区域において、空き店舗に出店する経営者が行う改装に要する経費などへの助成を行っている。一方、既存店舗が行うリフォームには、経営安定支援資金などの市の中小企業融資制度を活用することができ、また、それらに対する保証料や利子の補給も行うことで、負担軽減を図っている。リフォーム助成制度については、先進事例の高崎市の状況を調査したい。

常任委員会（閉会中）の活動状況

総務常任委員会

10月31日 所管事務調査「協働推進の取り組みについて」

11月20日 所管事務調査「総合評価方式入札について」

教育民生常任委員会

10月22日 所管事務調査「久留米市の学校給食事業について」

11月22日 所管事務調査「久留米市の文化芸術振興について」

経済常任委員会

10月31日 所管事務調査「下水道施設の耐震化について」

11月22日 所管事務調査「久留米産農産物の販売力強化について」

建設常任委員会

10月25日 所管事務調査「久留米市北部一般廃棄物処理施設の基本設計について」

11月12日 所管事務調査「『道・水路』の財産管理について」

同意した人事案件

固定資産評価審査委員会委員

津福今町 秋吉 樹

総務常任委員長改選

総務常任委員長

藤林 詠子

議長発言（市民の皆様へ）

12月2日の本会議冒頭に、今回の議員の不祥事に関して、議長が市議会を代表し、市民の皆様に向けたおわびの言葉を述べました。

.....

今回の議員の不祥事につきまして、市民の皆様方に多大なご迷惑をおかけしましたことを、市議会を代表し、心から深くおわび申し上げます。今後、二度とこのような不祥事を繰り返すことのないよう、信頼していただける議会づくりに誠心誠意努めてまいります。

どうか、市民の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

久留米市議会

議長 原口 新五

決議

辞職勧告決議が議員発議により提案され、全員賛成で可決しました。

.....

新山正英議員の辞職勧告に関する決議

新山正英議員は、去る11月7日、農地転用の許可を巡って便宜を図ったとして収賄容疑で逮捕され、同月28日に起訴された。

今回、議会から推薦された農業委員としての立場を利用したとして、議員本人が逮捕・起訴される事態に至ったことは、市議会の名誉と権威を著しく傷つけ、市民の信頼を大きく失墜させるものであり、新山正英議員の道義的、政治的責任は極めて重大である。よって、我々久留米市議会は、新山正英議員に対し、こうした責任を真摯に受け止め、速やかに自ら議員の職を辞することを求めるものである。

以上、決議する。

平成25年12月2日

久留米市議会

## 提出議案と審議結果 (第4回定例会)

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
<b>〔決算関係〕 16件</b>			131	久留米市地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決
認定1	平成24年度久留米市一般会計決算の認定について	認定	132	久留米市営住宅条例の一部を改正する条例	〃
認定2	平成24年度久留米市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	〃	<b>〔一般関係〕 21件</b>		
認定3	平成24年度久留米市競輪事業特別会計決算の認定について	〃	100	自動車破損事故による損害賠償の専決処分について	承認
認定4	平成24年度久留米市中央卸売市場事業特別会計決算の認定について	〃	101	交通事故による和解契約締結の専決処分について	〃
認定5	平成24年度久留米市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について	〃	102	交通事故による損害賠償の専決処分について	〃
認定6	平成24年度久留米市下水道事業特別会計決算の認定について	〃	103	交通事故による損害賠償の専決処分について	〃
認定7	平成24年度久留米市市営駐車場事業特別会計決算の認定について	〃	104	交通事故による和解契約締結の専決処分について	〃
認定8	平成24年度久留米市介護保険事業特別会計決算の認定について	〃	105	中学校生徒の負傷事故による損害賠償の専決処分について	〃
認定9	平成24年度久留米市簡易水道事業特別会計決算の認定について	〃	106	交通事故による損害賠償の専決処分について	〃
認定10	平成24年度久留米市地方卸売市場事業特別会計決算の認定について	〃	110	町及び字の区域の変更について	可決
認定11	平成24年度久留米市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	〃	111	町及び字の区域の変更について	〃
認定12	平成24年度久留米市特定地域生活排水処理事業特別会計決算の認定について	〃	112	久留米市民民活動サポートセンターの指定管理者の指定について	〃
認定13	平成24年度久留米市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	〃	113	久留米市教育集会所の指定管理者の指定について	〃
認定14	平成24年度久留米市母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算の認定について	〃	114	久留米市老人いこいの家の指定管理者の指定について	〃
認定15	平成24年度久留米市水道事業会計決算の認定について	〃	115	久留米市高齢者と子どもの交流施設の指定管理者の指定について	〃
96	平成24年度久留米市水道事業剰余金の処分について	可決	116	久留米市動労青少年ホームの指定管理者の指定について	〃
<b>〔予算関係〕 3件</b>			117	久留米ふれあい農業公園の指定管理者の指定について	〃
107	平成25年度久留米市一般会計補正予算(第3号)	可決	118	訴えの提起について	〃
108	平成25年度久留米市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	〃	119	市道路線の廃止について	〃
109	平成25年度久留米市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	〃	120	市道路線の認定について	〃
<b>〔条例関係〕 9件</b>			121	東合川野伏間線道路改築(丘陵部その1)工事請負契約の一部を変更する契約締結について	〃
124	久留米市市税条例の一部を改正する条例	可決	122	東合川野伏間線道路改築(丘陵部その2)工事請負契約の一部を変更する契約締結について	〃
125	久留米市社会教育委員条例の一部を改正する条例	〃	123	北部一般廃棄物処理施設リサイクルセンタープラント設備工事請負契約締結について	〃
126	久留米市農村環境改善センター条例の一部を改正する条例	〃	<b>〔人事関係〕 1件</b>		
127	久留米市世界のつばき館条例	〃	133	久留米市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
128	下水道事業の地方公営企業法の全部適用に係る関係条例の整理に関する条例	〃	<b>〔議員発議〕 1件</b>		
129	久留米市水防協議会条例の一部を改正する条例	〃	発議6	新山正英議員の辞職勧告に関する決議	可決
130	市営JR久留米駅西口駐車場条例	〃			